

知ってほしいな



# 吃音のいろいろなコト

—「持つ人⇄持たない人」のより良いコミュニケーションを目指して—

吃音（どもること）は100人に一人の割合で現れるとされる話し方で、沖縄県においても1万人以上の方が持っていると考えられます。

しかし、その多さの割に社会における認知は進んでいません。吃音を持つ方は、日常生活のどのような場面で困っているのでしょうか？その時、どのようなことを考えているのでしょうか？そもそも吃音とは何なのでしょう？本講演会では、こうした「吃音のいろいろなコト」について、講師が自身の体験を踏まえて皆様にお伝えします。

【日時】 2023年 **10月21日(土)**  
**14時～16時** (開場 13時30分)

参加費無料

【会場】 中城村護佐丸歴史資料図書館 3階企画展示室

【定員】 先着 **50名** (事前申込不要)

講師 **國場 真理子** (吃音当事者・臨床検査技師)

<プロフィール>

1977年八重瀬町生まれ。中城村在住。5歳から吃音が始まり、幼少期から学生時代にかけて深く悩む。生き方を模索する中、2018年に「琉球言友会」で吃音当事者たちと出会い、同年の吃音世界合同会議（広島市）に参加する中で、吃音への向き合い方が大きく変わった。2021年より吃音への理解を広げる草の根活動に取り組んでいる。

【主催】 中城村護佐丸歴史資料図書館

【お問い合わせ】 〒901-2407 沖縄県中頭郡中城村字安里 215番地 ☎098-895-5302